

## 第2次白山市男女共同参画行動計画の平成29年度事業実施状況及び平成30年度事業実施予定について

### (1) 平成29年度の主な事業実施状況について

#### 1. 基本目標 1 あらゆる分野で男女がともに輝く社会づくり

- ▶ 課題1-1 方針決定・政策立案の場への女性参画推進
- ▶ 課題1-2 女性の社会進出支援
- ▶ 課題1-3 ワーク・ライフ・バランスの推進
- ▶ 課題1-4 多様な分野における男女共同参画の推進

#### ・ 審議会等の女性委員登用率と市役所における女性管理職の割合

方針の立案・決定の過程への女性参画の拡大のため、市の審議会等の女性委員の登用率の目標を40%としているが、平成29年度の女性委員登用率は30.0%（対前年比-0.1%）であった。

また、女性職員の管理職登用を推進した結果、白山市役所における女性管理職の割合が19.1%（対前年比+0.3%）となった。

#### ・ ワーク・ライフ・バランスの啓発と男性の家事・育児への参加促進

男女共同参画推進週間に合わせ、白山商工会議所で男女共同参画啓発展を実施したほか、市ホームページにワーク・ライフ・バランスに関するページを設け、ワーク・ライフ・バランスの必要性などの周知啓発に努めた。

男性の家事・育児への参加促進の啓発として、「パパ子育て講座」の開催、父親向けの「父子手帳」の交付や男性のための料理教室などを実施し、家庭における役割分担意識の見直しを促進した。

子育て支援環境の充実としては、引き続き病児保育事業、一時保育事業の実施のほか、子育てに関する体制を整え保育サービスの充実に努めた。また、児童館、児童センターの利活用の促進を図り、地域における子育てを支援した。

#### ・ 職場・地域における女性進出の推進

雇用の場における男女の均等な機会と待遇の確保については、平成26年度から「仕事と生活が調和する優良事業所」の表彰制度を実施しており、平成29年度は、雇用環境の整備に積極的に取り組む市内2事業者を表彰した。（累計12事業者）また、女性を対象に就職支援セミナーや起業セミナーを実施し、女性の社会進出を推進した。

地域における男女共同参画の推進として、公民館における女性の自己啓発講座の開催のほか、防災に関する女性のリーダー育成として、平成29年度に女性12名が自主防災組織リーダー（防災士）養成講座を受講し、現在市内の女性防災士は72名となった。また、南消防団女性分団を設置し、消防力の強化を図った。

## 2. 基本目標 2 男女が健康で安全・安心な社会づくり

- ▶ 課題 2-1 生涯を通じた男女の健康支援と生活支援
- ▶ 課題 2-2 人権尊重意識の醸成と配偶者からの暴力の根絶

### ・健康と生活を支える取組

健康支援として健康大学や心と体の講座等を開催し、市民の健康意識の向上を推進した。介護を支える環境の充実として、平成29年度から日常生活圏域ごとに「地域包括支援センター」を市内7か所に設置し、より身近な場所でさまざまな相談や、必要な支援を受けることが可能となった。

### ・DV（ドメスティックバイオレンス）対策

夫・パートナーからの暴力への対策推進として、DVホットライン白山、女性なんでも相談を開設し、平成29年度は女性なんでも相談累計が275件（H28：291件）、うちDVホットライン33件（H28：43件）の相談を受けた。なお、石川県配偶者暴力相談支援センターに移送が必要な案件は3件あった。

また、潜在化するDV被害者の救済のため、DVホットライン白山を紹介するカードを市内商業施設等に作成配布した。

## 3. 基本目標 3 男女共同参画が進む環境づくり

- ▶ 課題 3-1 男女共同参画社会の理解促進
- ▶ 課題 3-2 性の尊重と理解促進
- ▶ 課題 3-3 男女共同参画の視点による社会制度と慣行の見直し

### ・学校における男女共同参画意識の啓発

中学校では、キャリア教育として生徒が自身の個性や能力を理解し主体的に進路を選択する力を育成するため、職場体験を実施した。また、人権週間を中心に男女共同参画に視点を置いた教育・活動を行った。

笠間中学校の3年生を対象に男女共同参画意識アンケートを実施するとともに若者向けリーフレットを配布し、男女共同参画意識を啓発した。

### ・性と性の多様性への理解促進

性の多様性に関する情報提供として、LGBT（性的少数者）に関するセミナーを開催し、性の多様性への理解を促進した。また、市の公的書類等について性別欄の必要性の確認を行い、性別を確認する必要のない書類については対応できるものから性別欄の削除を行った。

### ・その他の啓発やサポーター研修活動

市のホームページを更新し、男女共同参画に関する情報を発信した。また、男女共同参画サポーターへ市主催のセミナーへの参加を呼びかけるとともに研修会も開催しサポーターの知識の涵養に努めた。